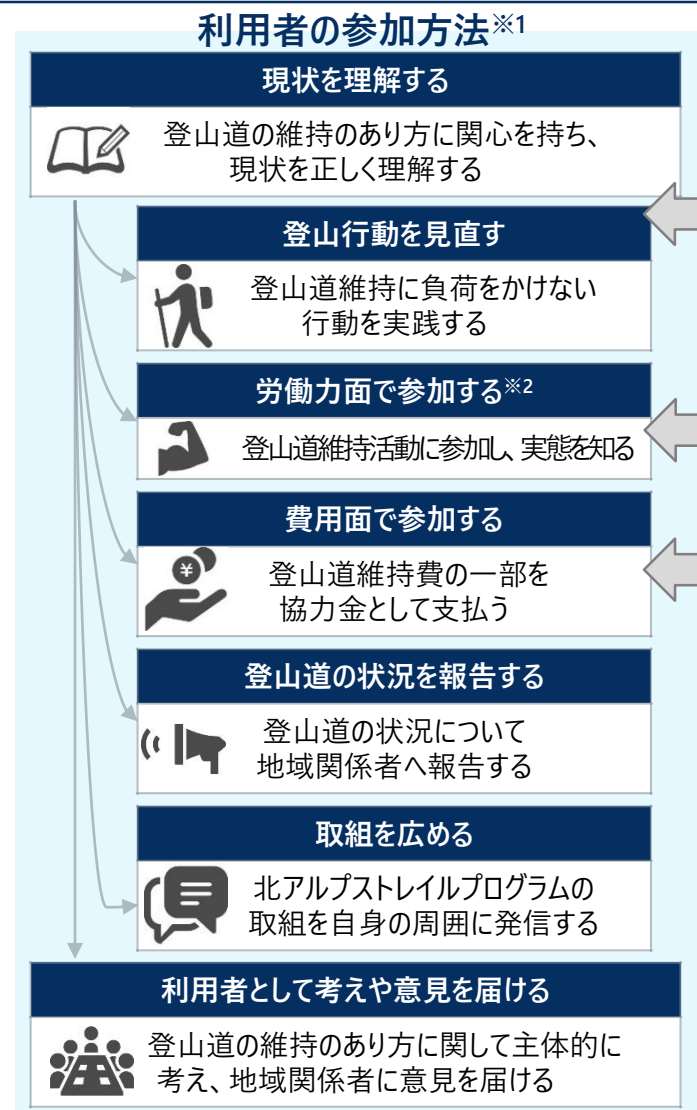


利用者参加制度の全体像・令和4年度の実施内容

利用者参加制度（北アルプストレイルプログラム）の全体像

- 利用者に対し、登山道の維持についてどのような仕組みや体制が現在構築されているかを正しく伝える機会を設け、利用者を含む関係者の認識の共有を図る。
- 利用者や関係者が参加可能な登山道維持に関する制度について、関係者で検討する場を設ける。
- 検討を踏まえ、利用者を含む関係者が登山道の維持に参加する制度を整え、持続可能な登山道維持を実現する。



受入地域での仕組みづくり

R 3	・ 北アルプストレイルプログラムウェブサイト開設
R 4	・ 発信コンテンツの追加 ・ 「登山の心構え」に関するページの追加
R 5	・ 発信コンテンツの充実
R 3	・ 登山道整備ツアーに関する情報収集
R 4	・ 「登山道整備プログラム」実施・モニターツアー実施（予定）
R 5	・ 「登山道整備プログラム」・ツアーの継続実施（仮）
R 3	・ 寄付金收受の実証実験 1 年目（一部期間のみ）
R 4	・ 協力金收受の実証実験 2 年目（通年）
R 5	・ 協力金制度の本格導入

制度の検討

北アルプス登山道等維持連絡協議会

検討内容を共有 / 実験結果を共有

利用者参加制度のあり方検討会

【目的】北アルプス南部地域の長野県側における利用者参加制度の導入について検討するにあたり、制度の導入可能性や制度設計の方向性、その他実証実験を含む必要な取組等について、関係する機関・団体による相互連携のもとで検討等する。

R 3	検討会 4 回開催
R 4	検討会 2 回開催（予定）
R 5 ~	本格導入後、必要に応じて検討会を開催

※1：参加方法は、協議会や検討会、利用者の意向を踏まえ、順次整えていくものであり、この限りではない。
 ※2：安全管理面などを考慮して一般の登山利用者が参加できる登山道維持活動の環境整備（実施内容、場所）は、協議会や検討会で令和4年度より順次検討を進める。

〈現状を理解する〉〈登山行動を見直す〉仕組みづくり

- 令和3年度、北アルプス登山道等維持連絡協議会のウェブサイトを開設。協議会が実施する「北アルプストレイルプログラム」やその背景にある北アルプス南部地域の登山道維持の現状、協議会の活動内容に関する情報を発信している。
- 令和4年度は、実証実験1年目に得られた成果と課題を踏まえ、協議会ウェブサイトで発信するコンテンツの充実化を図っていく。
- 「登山の心構え」を協議会ウェブサイトや登山口に設置予定の啓発普及案内板を通して登山者へ普及啓発を行う。

【令和3年度】 「北アルプストレイルプログラム」ウェブサイトの開設 (実施主体：北アルプス登山道等維持連絡協議会)



【令和4年度】 発信するコンテンツの充実化



【令和4年度】 啓発普及案内板設置 (実施主体：北アルプス登山道等維持連絡協議会)



◎ウェブサイトの構成
【北アルプストレイルプログラムとは】
 検討の背景、実証実験の実施内容
【協議会について】
 協議会の役割、活動、検討会
【お知らせ】【協力金のお願い】【アンケート】
【登山者の皆様へ】

- 安全登山のために必要な登山の心構えについて、協議会ウェブサイト内に新たにページを追加した。
- 協議会の令和4年度事業計画では、啓発普及案内板7基の設置が計画されており、協議会ウェブサイトだけでなく現地においても登山者に対して発信。
- 現地で配布するカード等の広報媒体を活用した普及啓発も行う。

<現状を理解する><登山行動を見直す><労働力面で参加する><取組を広める>仕組みづくり

- 令和4年度は、北アルプストレイルプログラムの一環として、信州まつもと山岳ガイド協会やまたみが登山道整備研修会（学習会）を実施した。
- 観光庁補助事業、松本高山Big Bridge構想それぞれで実施されるモニターツアーにおいても、登山道維持活動（安全登山の普及啓発）を組み込んだ。
- なお、研修会やツアーの実施内容や場所については、安全管理面などを十分に考慮する必要がある。

■ 【令和4年度】登山道整備研修会（学習会）（信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ）



やまたみ 信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ ホーム やまたみの活動 ▼ ガイドのお申し込み ▼ オリジナルイベント ▼ More ▼ 🔍

【令和4年度 上高地地域における持続可能な登山道維持のための研修会】

登山道整備学習会

～座学+実技で登山道整備を学ぶ～



「登山道整備を学ぶ学習会」を開催します。

整備の仕方、意義、苦勞などを肌で感じることができる貴重な機会です。

登山道整備をすれば、今後の登山が変わることでしょう。

※この学習会は北アルプス南部地域登山道等維持連絡協議会が主体となって取り組んでいる「北アルプストレイルプログラム」の一環として行います。

- 2日間の中で、1日目は座学、2日目は実技。
- 「座学」では、登山道の歴史、登山道整備の目的、方法を学習する。
- 「実技」では、登山道整備の状況が紹介されるとともに、歩荷と施工の体験などの実技講習を行い、実践を通して登山道整備を学習する。
- 令和4年中に計3回開催。

◎日程・場所

- 【第1回】6/11(土)-6/12(日) 岳沢登山道 ※一般向け
- 【第2回】6/14(火)-6/15(水) 岳沢登山道 ※山小屋関係者向け
- 【第3回】10/15(土)-10/16(日) 焼岳登山道（上高地側）※一般向け

6月12日 座学



6月13日 実地研修



■ 【令和4年度】モニターツアーの実施

- 観光庁補助事業、松本高山Big Bridge構想それぞれで、登山道維持活動を組み込んだモニターツアーを実施。
- ツアー参加者の登山レベルに応じて、初級/中級/上級の3つのコースを設定。山岳ガイド同行のもと、宿泊する山小屋に至るまでのルート上で登山道維持活動を実施。
- 想定する登山道維持活動は、安全登山（自己責任）の普及啓発、歩荷体験、登山道維持（石組み、ササ刈りなど） など

〈費用面で参加する〉協力金事業の枠組み

- 令和3年度の結果を踏まえて一部変更し、令和4年度は以下の通り実施した。

〈令和3年度：実証実験1年目〉

負担金の種類

利用者の善意に基づく**寄付金**（任意の支払い）

実施主体

- ・北アルプス登山道等維持連絡協議会
- ・寄付金の収受と管理、ウェブサイトの開設と更新

体制

検討主体

- ・中部山岳国立公園南部地域山岳部における利用者参加制度のあり方検討会
- ・実験の実施方針、寄付金の使途の検討、協議会への共有

対象者

- ・槍穂高連峰および常念山脈エリアの長野県側登山道を利用する登山者
- ・上記の登山道の維持に協力するすべての人

受付方法

- ・クレジットカード決済
- ・口座振込
- ・山小屋寄付金箱

金額

基準額：1口**500円**

期間

令和3年9月18日（土）～10月18日（月）

收受場所

協議会ウェブサイト（オンライン）もしくは山小屋

〈令和4年度：実証実験2年目〉

利用者の善意に基づく**協力金**（任意の支払い）
※「**登山道維持協力金**」

実施主体

- ・北アルプス登山道等維持連絡協議会
- ・協力金の収受と管理、ウェブサイトの開設と更新

検討主体

- ・中部山岳国立公園南部地域山岳部における利用者参加制度のあり方検討会
- ・実験の実施方針、協力金の使途の検討、協議会への共有

- ・槍穂高連峰および常念山脈エリアの長野県側登山道を利用する登山者
- ・上記の登山道の維持に協力するすべての人

- ・クレジットカード決済
- ・口座振込
- ・山小屋協力金箱

基準額：1口**500円**※

通年 令和4年4月27日（水）～

協議会ウェブサイト（オンライン）もしくは山小屋

※基準額は、令和4年度第4回検討会で「1口1,000円」の方針となったが、協議会の拠出金の捻出方法の変更により協議会予算が大幅に拡充することとなったこと等を考慮し、「1口500円」据え置きとすることとなった。

実証実験の進行状況と今後の予定

- 協議会ウェブサイト等による情報発信、協力金の収受、利用者アンケートを、令和3年度に引き続き実施した。
- 令和4年度は登山者数のカウント調査を追加的に実施し、入山者数・下山者数を把握した。

	〈2022年4月～7月〉	〈2022年8月～〉
①情報発信	<ul style="list-style-type: none">● 協議会ウェブサイト令和3年度より継続運用● 登山口看板、山小屋等設置のラミネート版により現地広報中（2022年4月27日(水)より）	<ul style="list-style-type: none">● 2022年8月4日より山小屋宿泊受付でのカード配布開始● ウェブサイト等での追加的コンテンツの検討・実装● 閉山後、ウェブサイトアクセス数を分析
②協力金の収受	<ul style="list-style-type: none">● 上高地開山日（2022年4月27日）より開始	<ul style="list-style-type: none">● 閉山後、回収結果を分析
③利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none">● 上高地開山日（2022年4月27日）より開始● 設問内容の見直し（7月中）	<ul style="list-style-type: none">● 2022年8月～更新版の設問での調査開始● 閉山後、回答結果を分析
④登山者数 カウント調査	—	<ul style="list-style-type: none">● 2022年9月～10月の10日間で調査実施● 閉山後、結果を分析

①情報発信ー協議会ウェブサイト・現地での広報

協議会ウェブサイト

- 協議会ウェブサイト内の「実証実験の実施」に関する案内を令和4年度の内容に更新し、上高地開山日（2022年4月27日(水)）より公開。



現地での広報

- 看板、ポスター、ラミネート、カードの4種類を掲出・配布

看板

- ▷ 登山口12ヶ所
- ▷ 上高地登山相談所



ポスター

- ▷ 新島々駅、上高地食堂、沢渡ナショナルパークゲート、平湯バスターミナル、あかんだな駐車場



ラミネート

- ▷ 山小屋、登山相談所、関連ホテル・旅館



カード

- ▷ 山小屋22軒、上高地インフォメーションセンター
- ▷ 調査員による手渡し配布を一部実施



②協力金の収受

- 令和3年度と同様に、オンライン・キャッシュレスでの収受としてクレジットカード決済および口座振込、現地・現金での収受として関係する山小屋での協力金箱の3つの方法を用意し、上高地開山日（2022年4月27日(水)）より受付を開始した。
- クレジットカード決済は、協議会ウェブサイトからSyncable決済画面に移動し、必要事項の入力で決済が完了するシステムとなっている。
- 協力金箱は、大滝山荘を加えた計22軒の山小屋に設置されている。

オンライン・キャッシュレスでの収受

協議会ウェブサイト「協力金のお願い」

協力金の金額

1回につき「500円/口」として、ご希望の口数にて協力金をお願いします。
 ※税額控除に係る書類の発行につきましては、今年度は未対応となります。ご了承ください。

登山道維持協力金について

一口	500円
口数	1口から
頻度	今回のみ、毎月

クレジットカード

下のボタンのリンク先ページから協力金の口数を選んでいただき、クレジットカード決済で協力金をお支払いいただけます。

対応カード：

クレジットカードで協力する ▶

銀行振込

協力金を以下の口座へ、銀行窓口、ATMまたはインターネットバンキングよりお振り込みください。
 ※振込手数料はお振込者様のご負担となります。ご了承ください。

金融機関名 八十二銀行
 支店名 松本営業部 (店番号411)
 口座種類 普通
 口座番号 1390193
 口座名義 北アルプス登山道等維持連絡協議会
 会長 臥雲 義尚
 キタアルプストザンドウトウイジレン
 ラクキョウギカイカイチョウガウンヨ
 シナオ

Syncableでの決済画面

現地・現金での収受

協力金箱設置の山小屋一覧

1	西穂山荘	12	殺生ヒュッテ
2	穂高岳山荘	13	ヒュッテ西岳
3	北穂高小屋	14	燕山荘
4	涸沢小屋	15	合戦小屋
5	涸沢ヒュッテ	16	大天荘
6	横尾山荘	17	ヒュッテ大槍
7	槍ヶ岳山荘	18	常念小屋
8	槍沢ロッジ	19	蝶ヶ岳ヒュッテ
9	岳沢小屋	20	徳本峠小屋
10	南岳小屋	21	焼岳小屋
11	大天井ヒュッテ	22	大滝山荘※

※大滝山荘は令和3年度は営業期間外であったため、設置無し



横尾山荘

③利用者意識調査

- 令和4年度は、令和3年度同様に協議会ウェブサイト上でのオンライン調査を継続した。
- 別途、環境省環境研究総合推進費を受託している北海道大学大学院農学研究院が現地調査を実施した。

協議会ウェブサイトでの オンライン調査

- 令和3年度結果等を踏まえ、設問を修正した上で、令和4年8月に切り替え。
- 修正は、以下の視点で継続／削除／追加を行った。

- ① 協力金制度の持続可能性を図る指標となり得る項目は継続（事業のモニタリング）
※3～5年など間隔をあけてモニタリング的にアンケート調査を実施することを想定
- ② 調査期間を拡大したことで、昨年度結果から大きく変動しないと考えられる項目は削除
※支払い理由/支払わない理由/支払いやすいタイミング/支払いやすい方法
- ③ 登山者の実態を把握する項目は事実として把握するため継続
※昨年度、議論の対象とならなかった属性に関しては削除
- ③ 実験2年目であることから、昨年度からの参加の継続性を図る項目等を追加
※「登山の心構え」を見たことがあるか/昨年の支払い有無/今後の支払い意向

北海道大学による 現地調査

- 令和4年8月および9月に、現地で登山者の支払状況、意識を把握するアンケートを実施する。
- 調査は、環境省環境研究総合推進費を受託している北海道大学大学院農学研究院が実施する。
- オンラインの利用者アンケートに対して、現地を実際に訪れている登山者の支払率、支払金額の実態を把握することを目的とする。
- 質問項目は、以下の内容を修正・追加する（意識調査用紙は参考資料2）。

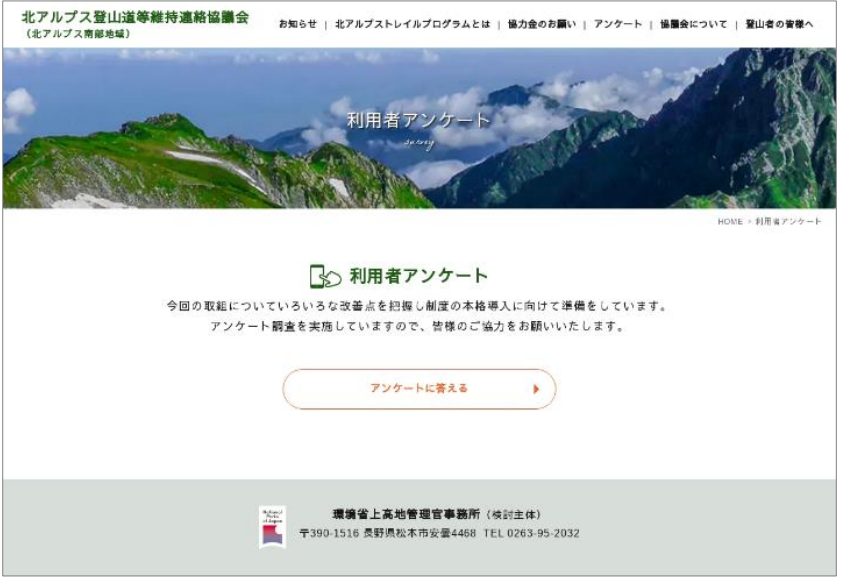
- ① 現地でのプログラムの認知，支払の意思，金額，支払及び支払わない理由
- ② 1回500円目安の協力金を基準として，いくらまでなら支払うかの仮想評価
- ③ 回答者の北アルプス南部地域への訪問経験，登山経験，愛着

- 以上の質問より、現地での支払率、金額を把握するとともに、支払および金額に影響する要因を把握する。
- 調査実施体制：8月10-13日@横尾山荘前 北大・庄子准教授、愛甲准教授、学部生3名
9月17-18日@横尾山荘前 北大・庄子准教授、学部生3名

③利用者意識調査（オンライン回答）

- 協議会ウェブサイト内にアンケート回答用ページを用意し、上高地開山日（2022年4月27日(水)）より回答の受付を開始した。
- 8月からの本格的なシーズンに合わせて、設問内容の見直し・改善を行い、8月1日より新たな設問での調査に切り替えた。

協議会ウェブサイト「アンケート」



協議会ウェブサイト「アンケート」

<1> 北アルプス南部地域の登山道維持で生じている問題について

- 問題に対する認知度：山小屋が登山道維持をしていること／山小屋の収益の一部の持ち出し／山小屋の経営悪化により維持ができなくなる可能性／「登山の心構え」について
- 協力してもよい行動

<2> 北アルプストレイルプログラムについて

- 取組実施の認知度・認知のきっかけ
- 昨年の協力金有無
- 協力金の支払い有無／金額／方法

<3> 今後、北アルプス南部地域で登山をする場合について

- 協力金の支払い意向
- 支払ってもよい金額

<4> 登山動向・属性

- 実験期間中の現地訪問有無
- 登山道の利用状況
- 登山日数・形態等
- 登山頻度・登山歴
- 対象地域への登山経験、毎年の訪問有無、年平均訪問回数

北アルプス南部地域
(槍穂高・常念山脈エリア)の
登山道維持に関する
アンケート2022

現在、北アルプス登山道等維持連絡協議会では、北アルプス南部地域（槍穂高・常念山脈エリア）の登山道を維持するため、登山道維持の実態を把握していただくとともに、維持にかかる費用の一部について登山道を利用する皆様にもご協力いただく仕組みとして「北アルプストレイルプログラム」の導入を検討しています。

「北アルプストレイルプログラム」をより良いものにしていくため、是非皆様のご意見を
をお寄せください。

※5～10分ほどでご回答いただけます。

※一部、設問番号がジャンプする箇所がありますが、そのままお進みください。

※回答結果は集計されたもののみを用いますので、自由記述を除き個別の回答内容が公表されることはありません。

検討主体：環境省上高地管理官事務所
TEL 0263-95-2032

Response Now

◎北アルプス南部地域の登山道を維持する上で生じている問題についてお尋ねします。

Q1.
北アルプス南部地域では、行政機関だけでなく、民間の山小屋が登山道の維持*の作業を行っていることをご存知でしたか。（1つだけ）
*「登山道の維持」とは、毎年の維持作業（倒木の撤去等）、大掛かりな補修作業（木道の更新、石積み）を指します。

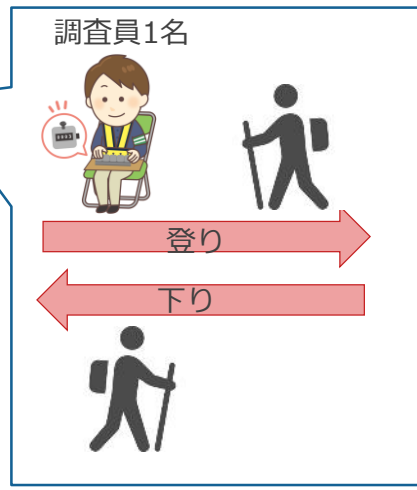
*
 詳しく知っていた
 大体知っていた
 どちらともいえない
 あまり知らなかった
 まったく知らなかった

© questant.jp - 非公開

④ 登山者数カウント調査

〈調査概要〉

- 当該地を訪れる利用者の動向を把握するためのモニタリング調査と解析を実施した。
- 9月から10月の間、2カ所の登山口においてカウンターを用いた調査を行う。10日間程度は2人程度/箇所の現地での直接カウントによりカウンターの精度把握（誤差）を実施した。
- 環境省のカウンター（LRカウンター）設置地点に調査員を配置し、各時間帯の入山者数および下山者数を数取機でカウントし、実測値を記録した。



【北アルプストレイルプログラム】登山者カウント数 チェック表

時間帯	登山者カウント数			時間帯	登山者カウント数		
	入山者	下山者	合計		入山者	下山者	合計
5時台				12時台			
6時台				13時台			
7時台				14時台			
8時台				15時台			
9時台				16時台			
10時台				17時台			
11時台							
合計							

実施日: 月 日 ()

実施場所:

担当者①:
担当者②:

天候:
※晴れ/曇り/雨/晴れのち曇り...などを記入

利用者からのコメントや気づいた点

調査地点	①横尾登山口（槍ヶ岳方面） ②横尾登山口（涸沢方面）
調査日	・10日間： 9/10-11、9/17-18、9/24-25、10/1-2、10/8-9
調査時間帯	・6:30～14:30

※ 調査委託先：
認定NPO法人信州まつもと
山岳ガイド協会やまたみ